

# 働くことを体験

## NJ日本人学校7年生



ニュージャージー日本人学校(白井治久校長)の7年生5人は5日と6日の両日、ニュージャージーにある日系の事業所で職場体験学習を行った。今年度は日本食レストラン1か所、幼稚園2か所、自動車1か所の計4か所の事業所で、朝8時過ぎから午後3時頃まで体験学習した。

生徒は、「幼稚園では、子供たちに分かりやすく話す力やまとめる力が必ず必要なことが、やってみて初めて分かった」「仕事で大切なことは、相手を愛すること。そして一つひとつの作業に心を込めること」と活動を通して、仕事の大変さや大切にすべき心構えを学ぶことができた。

今後は各自が職場体験で学んだ内容を盛り込んだ劇をメイプル祭(文化祭)で発表することを予定している。今回の2日間の職場体験学習は、普段の学校生活では体験することのできないものがあり、働くことの意味や将来の自分の姿を考える貴重な体験となった。



# NJ日本人学校 楽しくりんご狩り

ニュージャージー日本人学校(白井治久校長)初等部1・2・3年生は7日、秋の風情に彩られたデマレストファームに出かけた。3年生は、事前にリンゴの名前やスチーパーで売られているリンゴについて調べていたので、リーダーは得意気に説明していた。グループでリンゴを収穫して、活動のめあてである「協力すること」「ルールを守って自然と触れ合うこと」は、十分到達されたようだった。たくさん種類のアップルの中から「これは赤くて大きい」「名前はなんだろう?」と思いいいになっアップルでいっぱいになった袋を誇らしげに見せる子どもたちの笑顔が、充実した一日であったことを物語っていた。